

水道の浄水場施設で潮南地区全域が賄えることが判明しました。

以上のことから、潮南簡易水道の統合を推し進めるものであり、昨年度末に事業認可を受け、本年度より実施設計等に事業着手いたしますので、よろしくお願いたします。

Q2 見行山について

観測所の撤去計画と問題点

問 見行山にある気象庁の無線ロボット雨量観測所において、心配されていたバッテリー等の放置問題についての説明、土壌調査、水質調査の報告、及び気象庁の観測所撤去はいつされるのか、また、町からの働きかけについて伺いたい。

答 (渡辺水道環境課長) 見行山の観測所は、昭和32年5月に稼働し、レーザー技術の発達などで昭和48年11月に観測を終え、雨量計や通信機器の本体は回収されましたが、電源の電池、木造の小屋・基礎等は放置されていきました。

気象庁では、昨年4月より全国の無線ロボット雨量観測所跡地等を対象に、空気湿電池の処置状況について調査を行いました。見行山無線ロボット雨量観測所跡地につきましては、平成26年7月14日に現状確認が行われ、観測所跡地に空気湿電池が

21個放置されていることが確認され、同日、全て回収されております。また小屋・基礎等は壊れ廃材となっていました。

空気湿電池の電極には、少量の水銀が使用されていたことや、見行山が潮南地区の水道施設等の水源であることから、観測所跡地における土壌及び周辺の河川水の調査を平成26年11月17日に県・町立会のもと実施しました。土壌及び水質調査の結果は全ての調査地点で国が定める基準値を下回り、土壌汚染及び水質汚染は確認されませんでした。

見行山無線ロボット雨量観測所跡地の廃材及びコンクリート基礎等の撤去につきましては、協議により岐阜地方気象台が、引き続き責任をもって撤去することになっておりますが、現地が山岳地・積雪等の問題もあり、翌年度以降に実施することになっております。

町としましては、今後の利用等を考え、気象台に林道見行線の使用・作業道の整備・登山道の不整地を運搬車等の走行が可能となるよう整備し、機械による撤去・搬出をしていただきましたと指導してまいりました。

現在の進捗状況を気象台に確認しましたところ、施工方法、ルート選定を検討・現地確認をし、機械施工・林道見行線の枝線の作業道を利用した方法での施工を選定し、町が紹介した地

元業者に見積もりを依頼しているところであり、見積もり結果によつては、今年度には撤去できるとのことでした。

Q3 見行山の活用について

問 八百津町で一番高い山である見行山、頂上はとても素晴らしい景観です。白川町側と恵那市側より登山ができるようですが、せっかく取得した見行山について、町としてはどのように活用していくのか。水源地だけではなく、色々な活用方法があるのではないかと思います。

また、今後は水源地保全のため森林整備を進められると思いますが、隣接地との境界線も明確でなければ事業も進められないと思っておりますが、今後の予定について伺いたい。

答 (山内産業課長)

八百津町で一番高い山である見行山は、905・1mあり、岐阜県山岳連盟によつて選定された「続ぎふ百山」にも選ばれています。頂上は国土地理院の2等三角点があり、八百津町、白川町、恵那市の行政境となっています。

昨年度から2年間でこの頂上から南側の392,483㎡を購入予定です。取得後は、水源涵養林として役割を果たせるよう計画的な森林管理を行います。隣接地の境界を明確にしな

ければ作業は行えません。前所有者の方が、分譲販売するため測量を行っておられますが、30年以上も前のことですので、杭なども確実に残っているとは思えません。そのため、水源林境界明確化促進事業など県の補助制度を利用し、隣接地との境界整備を行いたいと考えています。

Q4 八百津排水路 八〇百津排水路の行程及び調査結果への対応

問 先回も質問させていただきましたが、とても重要な案件ですので、再度質問いたします。

八百津排水路計画において、立地的な要因により、雨水等の流れが集中しやすく、特に宮島・上石原・下石原・本町・玉井・栄町・旭町・港町地区において、雨水等の被害が出ており、早急に被害の解消に手掛けなくてはいけない状況にあります。

大動脈的な排水路で、町道木野港町線大仙寺付近から木曾川へ流す八百津排水路計画は、排水能力の強化を目的に計画された大掛かりな工事です。

今年度において、地下水の影響調査として、民間の井戸4箇所に水位計設置、6箇所のボーリング調査などを工事施工前に地下水位水質等の不安解消のため、進められるとのことですが、計画の過程から調査結果の見込みまでの行程を伺いたい。

答 (山田建設課長)

井戸調査は議員ご承知のとおり、平成26年度、民間の井戸4箇所に水位計を設置し、水位の測定・水質検査を継続的にを行い、結果報告も井戸所有者に報告させていただきました。平成27年度も同様に調査を行い、随時報告させていただきたいと

